



平成27年6月25日

## シンポジウム「先端科学技術は介護現場を救えるか？」を開催

岡山大学は6月27日、人文学研究が基幹となる新たな老年学の構築を目的とした研究プロジェクト主催によるシンポジウム「先端科学技術は介護現場を救えるか？」を開催します。

少子高齢化・人口減少社会を迎えた日本において、先端科学技術を駆使した介護機器やリハビリがケアの現場において注目されています。果たして、先端科学技術を駆使した機器やリハビリは、現場の救世主となりうるのか？

先端科学技術をケアの現場へ導入する研究に取り組む研究者、最先端の機器を用いたりリハビリを実践する医療者からの報告をもとに、現場で働く立場、人文学研究の立場、ケアラーの立場などさまざまな立場からのディスカッションを通して、今後の日本のケアと看取りのあり方に迫ります。

日時：平成27年6月27日（土） 13:45～17:00

場所：岡山大学附属図書館中央図書館1階ラーニングコモンズ

報告者：杉原太郎（岡山大学大学院自然科学研究科助教）

佐治周平（医療法人社団成仁会 長田病院リハビリテーション室室長）

コメンテーター：森本尚俊（特別養護老人ホームみなみがた荘施設長）

本村昌文（岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授）

司会：吉葉恭行（秋田工業高等専門学校人文科学系教授）

本研究は日本学術振興会／科研費・基盤研究（B）「ケアの現場と人文学研究との協働による新たな〈老年学〉の構築」（代表：本村昌文）の助成を受けて実施します。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院社会文化科学研究科（文）

准教授 本村 昌文

（電話番号）086-251-7395

（FAX番号）086-251-7395